



NPO PTPL “ともいき” 便り No.40

■小雪（しょうせつ）（2013年11月22日発行）

11月22日（金）から12月6日（金）が小雪の節気です。本格的な冬はまだですが、北日本や山沿いの地方には、わずかながら雪が降ります。まさに小さな雪ですね。枯れ色の山は眠りに入ったようです。シベリアから白鳥が渡ってきて、冬将軍もそろそろやってくるころです。

朝、駅のホームから富士山が見える日が多くなりました。私は、杉並区内のJR中央線沿線に住んでいますが、こここのところ高架の駅のホームから雪をいただいた富士山が見える日が多くなりました。富士山が見えると、何か今日一日、いいことがありそうな気分になりませんか？

富士山といえば、以前からご案内していますようにfacebookにて「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」を展開しています。NPO PTPLの「おらが富士プロジェクト」担当の尾崎さんによる埼玉、茨城両県の「ふるさと富士山」の取材リポートが掲載されています。栃木県の取材も順調で、この便りが届く頃には栃木県の取材リポートもご覧いただけたらと思います。

<https://www.facebook.com/oragafuji>

今年は、酷暑のあと、秋が短く、あっという間に冬の到来のような気候ですが、11月16日、17日は、「小春日和」という言葉がぴったりの暖かな週末でした。「小春日和」とは陰暦十月の異称が小春ですから、陽暦ではほぼ十一月の暖かい日を指します。気圧配置が西高東低となり冷たい北風が吹きますが、翌日には大陸高気圧は移動性となり、風も弱まって小春日和となります。このような日には、公園を散策したり、ひなたぼっこしたりと太陽の光を浴びるのがおすすめです。

いま、NPO PTPL では「旬の食材」を「ともいき暦」に反映しようと検討して

います。大きく「魚」「野菜」「果物」の分類に分け、その時季の旬の食材を表示しようと考えています。「ともいき暦」をご覧頂くと、大都市では味わいきれない季節の移り変わりをいろいろな切り口で楽しめ、自然恵みに育まれ、培われてきた日本人の生活（くらし）の知恵が実感できると思います。

ということで、そろそろ鍋が恋しい季節です。白菜や大根、春菊、ふぐやかきなど、夕食が楽しみです。

文：佐藤 誠 （NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

●日本の本質、それは、日本的なるもの「ジャパネスク」。

われわれの祖先は、人間の側から一方的に自然を見るのではなく、人間も自然の一部であるという観念のもと、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。きっと、祖先の五感は、自然とそのリズムを十分に体感していたのでしょう。

日本独特の風土に影響されながらも、この知恵と体験を蓄積して発達してきたのが“共に生きる”“ともいき”という価値観、生活観であり、祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の生活のありようです。

また、われわれの祖先は外国からの文化を一方的に受け入れるのではなく、全く異質なものを共存させ、調和・和合させて、それぞれの良さを生かし、日本化し、独特の新しい文化を創り上げてきました。（歴史的に考察しても、和魂漢才・和魂洋才・和魂米才の経過、進捗状況、結果が示すとおりです。）この新しい文化を創り上げる創造性、想像力が“共に生み出す”“ともうみ”です。祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の学問に対するありようであり、知らなかったことを知るという強い欲求といえるでしょう。

この“ともいき”と“ともうみ”が日本人の精神的基盤、目に見えない「ジャパネスク」です。（“ともいきという価値観、生活観”と“ともうみという創造性、想像力”が精神的基盤になって、日本独特の形のあるモノ、コト、文化が創り出されたのです。これが目に見える「ジャパネスク」です。）

日本の、日本人の本質ともいえる“目に見えない「ジャパネスク」”“ともいき”と“ともうみ”は明日を創るために世界中が探し求めている普遍的なものになりうる可能性があり、21世紀を生きる地球人にとって、共通の言語、

共通の感覚になりうる可能性があると感じています。

そのためにも、祖先が、先達が発達させ、伝承してきた“ともいき”と“ともうみ”をもう一度力強く、自信を持って取り戻し、さらに高め、世界中の人々に訴求し、理解してもらうことが必要です。

“ともいき”と“ともうみ”という目に見えない「ジャパネスク」が、近い将来、地球上の諸民族の心と生活をつなぐ接着剤としての役割を果たすことができるのではないのでしょうか

●視線を高く、日本人。

ジャパネスク

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

- 『日本の本質、それは日本的なるもの「ジャパネスク」』というタイトルで facebook「ともいきぐらし」にてシリーズ展開しています。

NPO PTPL では、現在 8 つのホームページを企画・制作・運営しております。

8 つのホームページの概念は「日本」です。「日本」から導き出された意義をそれぞれ 8 つのホームページで表現し、探求しています。

そして 8 つの「日本」の総まとめとして来年（2014年）より、「ジャパネスク」という活動に入っていこうと考えています。

私たち日本人が、ふとしたはずみに感ずるもの、例えば、桜吹雪、木や花の香り、セミの声、虫の声、月の満ち欠け、湯豆腐、畳、雪景色、富士山などなどに接した時の心の和みと郷愁、それらに共通するものは何なのか。これを探っていこうと考えています。（理事長 勝田祥三 筆）

ぜひ、ご意見、ご感想をお寄せください。

<https://www.facebook.com/tomoikigurash>

- 11月18日（月）は満月。旧暦10月10日（新暦11月12日）の十日夜（とおかんや）も過ぎ、11月18日（月）は満月。ここ数日、小春日和というか、冬日和の夜空は澄み切っています。冬浅し、夜は冷え込んできますが、夜空にまんまるの月、月光も豊かです。いつもより月が大きく大きく力強く感じます。

- NPO PTPL 会員（法人・個人）を常時、募集しています。ぜひ、お知り合いの方や企業・団体をご紹介ください。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-6-6 第2井上ビル 3階

電話：電話：03-6277-7458 FAX：03-6277-7459

Email：info@plantatree.gr.jp